

市議団ニュース

「合併2年目の検証」決算議会終わる

9月4日から始まった9月決算議会は、市長提出35議案、意見書3件、請願1件、報告1件を審議し、28日に閉会しました。日本共産党議員団は、4人全員が一般質問、委員会での議案質疑に立ち、住民要求実現に奮闘しました。

23年度一般会計決算の認定に反対した主な理由

合併2年目を久喜市はどう住民の願いに応えようとしたか。合併を問う検証が決算審議の大事な点でした。

党議員団は、一般会計の決算認定に反対しましたがその主な理由はつぎの通りです。

第1に、合併時の1市3町では償還払い（借金返済）が終了した債務が多くあり、そのために財源に余裕ができていました。同様に、国の交付金が充てられた事業分の余裕ができていた。しかし、それらを市民の為に生かさなかったこと。

第2に、子育て支援策の思い切った展開、例えば子ども医療費を中学卒業まで無料にすること（他市よりも遅れた）が必要だったが手を打たれなかったこと。その結果、若年層の市民の流出が止められなかった。

第3に、商工・農業への振興策には見るべき施策が講じられず、逆に大規模小売店の開発、進出に重点を置いたこと。商業関係者への実態調査を行うことや、住宅リフォーム助成制度の実施を求めたが検討もされなかったこと、など。

第4に、職員の大幅削減を原因とした「市民サービスの低下」が進んだこと。その分野は、福祉行政をはじめ、道路、公園、施設の維持管理面、大雨水害対策の人員不足が起こったこと、など。

第5に、根拠法が失効しているのに同和団体に340万円もの助成を行っている。領収書の添付もないことなど。

（こうしたことを踏まえ、議員団では党市委員会とともに久喜市に対して来年度予算の要望を提出します。）

オスプレイの沖縄・普天間基地への配置反対の声がますます大きくなっています。沖縄県議会の全会派が議場前で抗議の座り込みが始まりました。10万人が参加した「9・9県民集会」の抗議の総意はオスプレイ配置撤回から基地の閉鎖・撤去へと広がっています。

久喜市議会では日本共産党市議団が提出した「米軍輸送機オスプレイの配置撤回を求める」意見書が、最終日の9月28日に審議されました。日本共産党と政策会議の猪股・園部両議員の賛成を得ましたが残念ながら賛成少数で否決されました。多くの沖縄、国民、市民の撤回を求める声は届きませんでした。



議場に日の丸と市旗を掲揚することの請願書が出され、議会運営委員会での審議また、本会議での討論、採決が行われました。当議員団は、

- ①反対討論で日の丸がアジア侵略の旗頭として使われたこと。
- ②遺族には日の丸に対し特別の感情を持っていること。
- ③国旗法の審議では、掲揚などを強制することはしないよう確認しており、万人の会する議場に掲揚することはふさわしくないこと。
- ④言論の府に賛否あるものは持ち込まないこと。などを主張して反対しました。

市民には負担増、日の丸を議場に掲揚 オスプレイ配備は容認 これでいいのか！

議員団は今後、日の丸を議場に掲揚するための予算化がされないよう市民に広く訴えていきます。

議会の中継、11月議会からテストランします

市議会のインターネット中継がいよいよ11月議会からテストランし、来年2月議会から本番を迎えます。このほど契約先も決まり、カメラ3台のハイビジョン（55、46インチ）での議場映像が1階ロビーと4階の大会議室での同時放映も始まります。また、執行部の自席マイクでの答弁が可能となり、時間短縮も図られることとなります。

「日本共産党久喜市議団ブログ」
開設中。検索してください。
ご意見待っています！

えっ県立図書館がなくなる？

熊谷市の県塩漬土地に新図書館計画を発表

教育環境常任委員 は県を参考人招致へ

図書館行政を所管する教育委員会は、教育環境常任委員会が担当しています。この県による『図書館リストラ』にたいし、委員会では県の職員を参考人として委員会に呼び審議をすることになりました。その内容は、

「県立図書館が無くなることに伴う久喜市への影響などについて」です。

こどもは本が大好きです



県は、2015年度末までに全ての県有施設の耐震化を完了させる方針に合わせ、県内3ヶ所、浦和、熊谷、久喜にある県立図書館を統廃合する計画を明らかにしました。熊谷に「北部地域振興交流拠点施設」と「新県立図書館」と複合施設整備を進める方針です。

久喜市は19日、埼玉新聞に掲載された当日になって初めてこのことを知らされました。

久喜市議会では、9月議会最終日の29日全会派からの提出で「埼玉県立久喜図書館の存続を求める意見書」が採択されました。

内容は、「県立久喜図書館は、平成23年度、25万人が利用し、貸出冊数15万2千、他の2館と比較しても多く、久喜市のみならず近隣市町からも広く利用されている。耐震改修を行うとともに、図書館機能に加え更なる行政サービスの充実をし、市民が利用しやすい施設として存続させることを要望する」となっています。

10月1日には、上田知事へ届けるとともに、県議会議長へも要望書を提出します。

地元の意向を全く聞かず進める姿勢は「県立小児医療センター移転」と同じだ。との声も聞かれました。



久喜市役所のとなりにある県立図書館

「廃館やせないで」 市議会で意見書提出へ

農業集落排水の使用料

14.4%の大幅値上げに！

下水道・農業集落排水の 使用料値上げに反対

下水道条例の一部を改正する条例、農業集落排水処理施設の一部を改正する条例、両議案とも反対は日本共産党のみで、賛成多数で可決しました。合併で統一する税金、使用料が、これでほとんどすべてが引き上げとなりました。下水道は全体で6.3%、農業集落排水は14.4%の引き上げです。下水道は特に旧久喜市では、10㎡～20㎡排水の一般家庭が13.3%～14.3%の値上げです。農集では特に旧久喜市の8人家族は29.1%の値上げです。子どもをたくさん育てている家庭にはとんでもない負担増です。これで子育てにやさしい街と言えるでしょうか。

税の設定の仕方も経費回収率先にありきのやりかたで、地方債償還経費も、過去に建設した地方債金利なども含まれています。人口の減少や施設の老朽化を理由にしていますが、今回は合併のための統一です。市民負担をおしつけるべきではありません。

下水道料金改定修正案 に賛成するも否決

久喜市下水道使用料金を改定する条例は、平均で6.3%の値上、41573世帯に影響が及びます。修正案は、原案に対し、料金区分を6段階から7段階にすることで、一般家庭、少排水量世帯への値上げを低額に設定するためのものです。全体の値上率は、ほぼ変わらないものの、多くの市民にとっては負担軽減となるものです。旧久喜市では、排水量20㎡で比較すると原案値上げ率が13.3%、修正案6.7%となります。

党議員団は、修正案に対し、負担軽減から賛成しましたが、賛成少数で否決となりました。(下の表参照)

原案と修正案の比較表

	原案		修正案	
	使用料金	改定率	使用料金	改定率
改定案 (20㎡使用)	1785	6.30%	1680	6.30%
旧久喜市	1575	13.30%	1575	6.70%
旧菖蒲町	1732	3.10%	1732	-3.00%
旧栗橋町	2152	-17.10%	2152	-21.90%
旧鷲宮町	2047	-12.80%	2047	-17.92%